

学校だより

ししずえ

甲斐市立双葉東小学校 平成21年8月27日号

2学期始まる！

36日間の夏休みを終えた児童が一堂に会しての2学期始業式が8月24日（月）に行われました。普段の学校生活では決して出来ない、『夏休みでっかい体験』をしたことの証明のような浅黒い顔、顔、顔。そして、一人ひとりの輝く笑顔にホッとさせられました。夏休み中も1件の事故や事件の報告もなく、無事に集まれたことに感謝するとともに、なおいっそうの逞しく変身した子どもたちに再会した喜びでいっぱいになりました。式の中で児童代表3名による「夏休みの思い出と2学期の決意」の発表がありました。2年生の平本さんは、家族で長野旅行に行って妹と楽しく遊んだ話と、2学期は運動会を楽しみにしていて、かけっこを頑張りたいという話をしてくれました。4年生の望月さんは、家族で静岡にある楽器博物館に行き、馬頭琴やチェンバロなどを実際に弾いて楽しかった話や、2学期はコンピュータ操作にも役立つローマ字をしっかりと覚えたい、友達と仲良く過ごしたいと話してくれました。6年生の小林さんは、家族で奈良を訪ね、東大寺や大仏などをじっくり見学し、当時の作業の様子を想像し感動したことや、奈良公園の鹿の放し飼いをみて動物愛護の精神を感じたことを話してくれました。また2学期へ向けて、最後の運動会では組み体操を頑張りたいことと、学習では算数の公式や、漢字をしっかりと覚えたいと、決意を話してくれました。3人とも全校児童の気持ちを象徴している発表で、すばらしいものでした。



なお、2学期から福岡県と静岡県から3名の転入生もあり、全校児童586名になりました。

当日、何の風の吹き回しかYBSテレビの取材が入りました。新型インフルエンザの感染者が国内、県



内でも増加している折の始業式の様子を取材したかったようです。たまたま職員会議で決定した新型インフルエンザ対策のことを子ども達の前で話ただけでしたが、放映されたようでした。県内200校の小学校の中で、本校が取材を受けたことは、複雑な心境でもありますが、「世間が双葉東小学校教育を認めてくれている証拠である」と、とらえたいと思います。いや間違いないことだと確信しています。ちなみに、私は放映時間に帰りたいたいと思っていましたが、全然間に合わず見る事が出来ませんでした。しかし車の中で何気なく聴いていたラジオニュースで、予期せぬ自分の声が出てきたことに、ハンドル操作を間違えそうになるほどびっくり仰天しました。この年になっても自分の声を聴くのは不思議といやなものです。

さて、82日間の2学期が始まりました。1学期の反省を生かしながら2学期はさらにグレードアップさせることを32名の教職員で確認しあいました。保護者の皆様方にも、運動会をはじめ学校に足を運んでいただく機会が多々あります。是非1学期同様ご協力のほどをお願い申し上げます。

前期学校関係者評価委員会の報告

夏期休業に入った7月23日に、学校評議員会のメンバーとPTA代表で構成される学校関係者評価委員会が会議室で開催されました。1学期中に行った教職員自己評価書・児童アンケートの結果と改善策、学校のあるべき姿等についての協議を行いました。以下寄せられたご意見をまとめたものです



＜学校関係者評価書＞

I 全体評価

双葉東小学校の総合評価は、総じて良好の水準にあるといえる。全ての項目が肯定的方向で安定している。また、日々の教育実践に対する評価は、比較的高い水準を維持している。ただし、個々の項目の中から見えてくる課題に対して、教職員集団が一つになって取り組んでほしい。

II 特徴

- ・ 国や県の指定を受けて、道徳実践及び授業内容の充実に力を入れている。
- ・ あいさつ運動への取り組みは、地域、家庭を巻き込んで広まりを見せてきている。
- ・ 児童数が増えるに従って人間関係が希薄になってきている。問題も発生しやすくなっている。
- ・ 校長を筆頭に全ての教職員が子どもと向き合う努力をしている。
- ・ 朝読書への取り組みは、子どもたちの学習への姿勢や生活態度により影響を与えている。
- ・ 校庭芝生化（平成21年7月完成）にともない児童の外遊びが増えてきている。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・ 児童アンケートの設問内容が、子どもによりわかるように項目内容の見直しや検討をしてほしい。また、児童アンケート、教職員自己評価とも全体の傾向を把握するには適しているが、より深い部分については、オリジナル項目の一層の充実がのぞまれる。
- ・ 教職員と保護者、地域の方々、子どもたちで「心の交流会」を開いたらどうか。形式にとらわれず、ざくばらんな話し合いをすることでお互いを理解しあえると思う。
- ・ 保護者やボランティアによる通学路上の指導が効果をあげている。愛のパトロールや帰り道ふれあい事業など継続してほしい。
- ・ 防犯のため、防災無線を利用して子どもの下校を地域の方々に知らせたらどうか。
- ・ 子どもたちの健やかな成長のために、家庭教育の充実と学校との連携をのぞみたい。
- ・ 子どもの成長発達段階で、訊きたいことを尋ねられない子や性格上他人にうまく話を伝えられない子がいる。学校教育の中で少しでも自分を表現できるよう支援してほしい。

※特記事項

- ・ 高学年・低学年にかかわらず学校評価の数値結果が意味するものは何であるのか、常に意識したい。そのために学校関係者評価委員会の役割は大切である。評価委員として保護者として学校や地域のために役立ちたいと思う。

以上のような貴重なご意見を伺いました。夏季休業中の職員会議でも検討し、子ども達の良い点はさらに伸ばし、取り組めることは即実行していくと確認しました。

新型インフルエンザ対策は予防が一番

そのためには・・・外から校舎・教室に入ったら、うがい・手洗いを必ずする。

手洗いは、指と指の間、爪の先、手首など洗い残しがないように石けんを使ってしっかりする。その後10～15秒しっかり流水で良く流す。・・・2学期全校で取り組みます。

このことを全校で約束しあいました。各家庭でも同様な取り組みをお願いします。教育委員会からの通達により、各家庭に「新型インフルエンザの対応」についての文章を配布させていただきました。各家庭での健康チェックと水筒の持参についてのお願いです。ご理解の上よろしくごお願い申し上げます。

